

連珠っておもしろい

九段 河村典彦

●第7回●

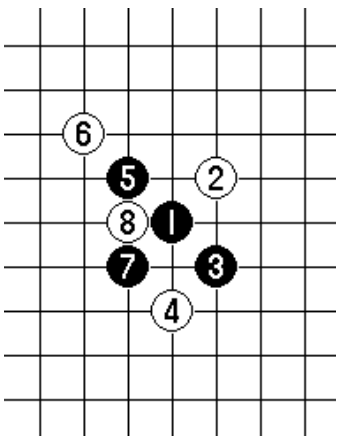
定石は難しい? パートII

我が家にもようやくADSLが開通し、インターネットが常時接続できるようになった。さっそくゲームサイトを訪れ、初心者の方を指導する機会も多くなった。当然そこでは三珠交替五珠二ヶ所打ちなんてやっついてないので、いわゆる自由打ちである。

すると、「定石は打つな」「定石を打たれたので負けた」などの声が多く聞こえるようになってきた。

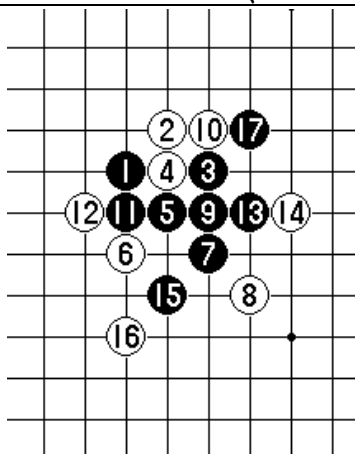
ちよつと待って。定石をどこまで知ってるの? と言いたくなるのだが、よく見ると浦月、花月を打たれただけで定石を打たれたと勘違いしている方が多く、いったい何が定石なのかさっぱりわからないというのが現状だろう。

私もよく浦月、花月を打たれるが、きれいに定石を打たれて負けた記憶は残念ながらない。定石を知っている人は定石を打ってこないで、定石を知らない人が定石(もどき)を打つたため定石で負けることはないという訳である。



黒7と思わず打ちたくなくなるが、白8で見事に桂馬の網にかかり、ここから勝つのは無理だろう。次に多いのが恒星定石。

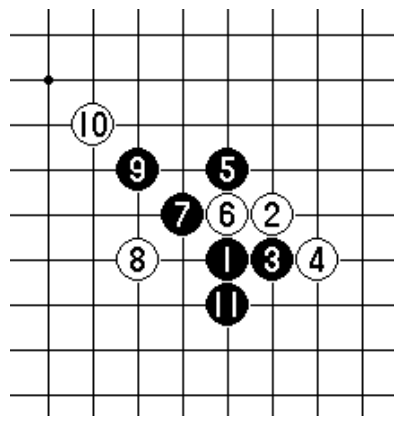
たいてい定石を打たせるが、黒15までは案外正確に打ってくる。しかし、急所の黒17は知識がないと打てない。



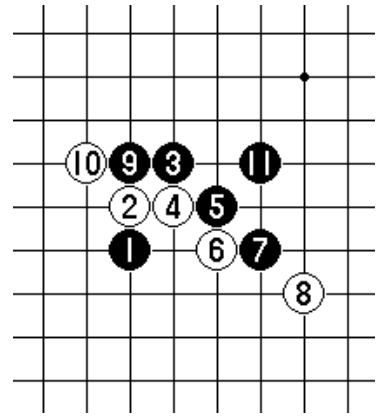
白8の逆止めとか変化したいのだが、そこまで行き着的に出来ない(当然と言えば当然だが)。やっぱこういうのは教えないとわからないが、ネットですれをやるのは非常に難しく、結局は連珠会に誘うしか今の所解決手段はない。

また、雲月・雨月共通型も人気が高い。直接、間接を問わないから、素人に短時間で教えるなら最適の形である。

有名な黒11もなかなか打ってくれない。この手は一本引いて休むという基本動作と、呼手の打ち方という点で非常に教訓が多いので、ぜひ覚えて欲しい一手である。

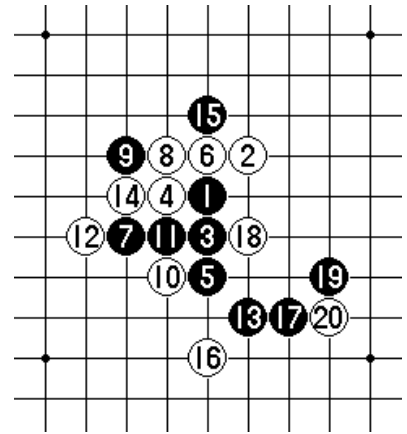


これに対して、峡月・溪月共通型はなかなか打つ人が多いのだが、これなら案外定石を知らなくても攻めが続く。桂馬の中でも白2が黒に挟まれている分、あつという間に勝つ手が少なく、本格的な勝負になりやすいからだろうか。例えば、黒11まで構えられると、白は防ぎに四苦八

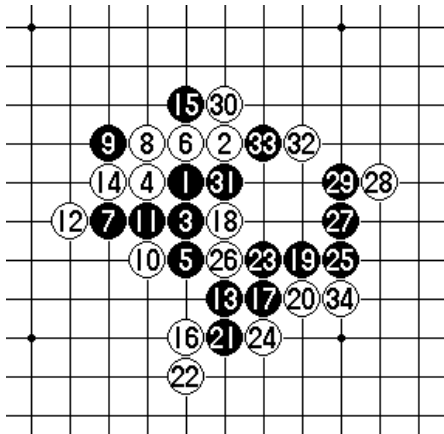


苦する。防ぐのが精一杯という感じである。黒11までは普通の感覚で打てる手なので、素人的にもわかりやすいのだろう。

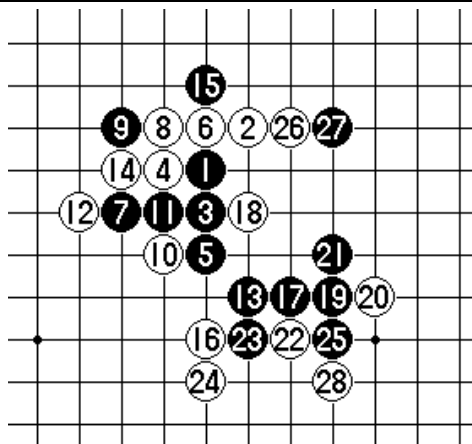
少し前、ちょっと高度な定石を教えようと思って銀月をおさらいしていたら、次の形で困ってしまった。実は定石を教えていた時は、昔の連珠世界から竹内定石を引っ張り出して教えていたのだが（見ないとわからないというところが定石の難しさを物語っている！）、黒21からの勝ちが載っていないので、苦勞することとなった。



結局宿題として持ち帰って調べたのだが、こういう点でも教えるということには自分の勉強になる。

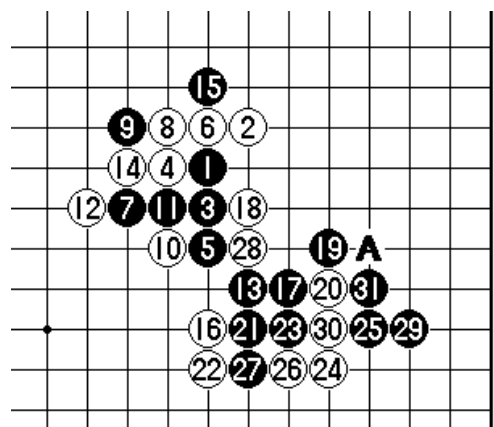


最初は黒25と29と上辺に抜けて簡単に勝ちだと思っただが、これには白30の抵抗が厳しく、白34で止まってしまふ。ちなみに、黒19からどんな引いていくのも、白26の四ノビー発で勝ちが消えてしまふ。



さんざん検討したあげくようやく次の勝ちを見つけ

た。黒23と引いてから黒25と呼手を打つのが白の剣先を相手にしない妙順。白26を30や29なら黒Aがある。



黒31から白は四三々にする抵抗があるが、それでも勝てる。もっと早くて簡単な勝ちがあるかも知れないが、調べた限りではわからなかった。

こうした体験からわかったことは、興味を持って連珠のネットゲームで遊んでいる人にもっと強くなるツール（定石講座など）が不足していることである。連珠社のHPなどの充実を図る必要があるだろう。